

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科	
科目名称	有害動物各論					授業形態		講義	
科目コード	260005	単位数	2単位	配当学年	3年	実務経験教員		アクティブ ラーニング	
担当教員名	新谷 喜紀								
授業概要	<p>本講義では、人や環境に様々な形で害を及ぼす動物について学びます。有害動物の例として、農林業の害虫や害獣、人や家畜の病気を媒介する動物などがいます。など各種の有害な生物について解説をします。近年の温暖化のせいか、日本にも多種類の生物が海外から侵入しています。また、開発による環境の変化のせいか、これまでは問題でなかった動物が、駆除の対象になっている場合もあります。このような各種の動物の問題に触れながら、その背景や対策についても考えていきます。</p>								
関連する科目	この科目の履修前は、昆虫学や動物分類学、自然環境実習を履修することが望ましいです。また同時に動物生態学を履修していると良いでしょう。								
授業の進め方 と方法	この講義では、毎回1~2枚の資料を配付し、それに沿って説明をしていきます。またほとんどの回で動物の画像などを示すためにパワーポイントを使用します。復習に活用してもらえるよう練習問題を配付します。実際に野外に観察にも行きます。								
授業計画 【第1回】	はじめに 有害動物の総論 有害動物各論という科目の内容について概説します。								
授業計画 【第2回】	被害による分類 動物による被害を分類するとどのようなものがあるかを学びます。								
授業計画 【第3回】	農業対する有害動物 1：水田								
授業計画 【第4回】	農業対する有害動物 2：蔬菜								
授業計画 【第5回】	農業対する有害動物 3：果樹								
授業計画 【第6回】	林業対する有害動物								
授業計画 【第7回】	衛生害虫・寄生虫								
授業計画 【第8回】	人の製造物に対する有害動物								
授業計画 【第9回】	ここまでのまとめとして練習問題をします								
授業計画 【第10回】	野外観察 1：農地								
授業計画 【第11回】	野外観察 2：自然林								

授業計画 【第12回】	野外観察 3: 住宅街
授業計画 【第13回】	野外観察 4: キャンパス内
授業計画 【第14回】	野外観察 5: 河川
授業計画 【第15回】	練習問題 (2) まとめとして練習問題をします
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 種々の動物について、人への被害や被害対策について理解すること。 ・ 有害動物の中には、人為的に分布を拡大したことが原因で問題が起きているものがあることを理解すること。 ・ 環境の変化のために害虫・害獣になっているものがあることを理解すること。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)
授業時間外の学修 【予習】	毎回の講義で配付した資料を見て復習をします。講義中もパワーポイントスライドを多用するが、各自で図鑑やインターネットなどを活用して、動物の画像等を見るようにします。また、講義中に配付した練習問題を活用して復習するようにします。 【予習】 毎回の講義前に配付する資料を見て予習をします。(1時間程度)
授業時間外の学修 【復習】	【復習】 毎回の講義で配付した資料を見て復習をします。(1時間程度)
課題に対する フィードバック	小テストの解答・解説を配付します。定期テストは終了後に解説をします。
評価方法・基準	定期試験 90点 レポート 10点
テキスト	テキストは使用しないが、毎回資料を配付する。
参考書	
備考	